

愛 P が行く!!!

知立市の魅力発見旅 No.13

今回は知立少年少女発明クラブ取材しました。発明クラブでは小中学生を対象に、課題工作や自由工作を行っています。指導員や参加者の声、発明クラブの魅力などをお伝えします!

知立少年少女発明クラブ

知立少年少女発明クラブはNPO法人「ナスモル知立」によって運営されています。子どもたちをはじめ多くの人に自然、科学、ものづくり、豊かな生活を楽しみ、保全しながら持続可能な社会を担う人材の育成を目指しています。展示型ではなく様々な場所で活動する体験型のまちのふれあい科学館として発明クラブ等の講座やイベント出展、防災活動支援など様々な活動を行っています。



🎤 発明クラブ参加者に聞きました!

Q 参加のきっかけを教えてください

A.「友達に誘ってもらいました」「理科が好きだったので参加しました」

Q 今まで作った中で楽しかったのは何ですか?

A.「顕微鏡を作ってねぎを見たこと、風船やスライムを作ったことが楽しかったです」

Q 難しいと思うことはありましたか?

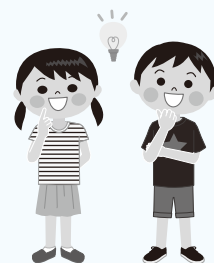
A.「のこぎりで木を切るのは難しかったです」
「ボランティアの皆さんに優しく手伝ってもらえたので最後までできました」

Q 参加して良かったと思うことは何ですか?

A.「自由研究のヒントになる活動ができること、学校では使ったことがないはんだごてや電動のこぎりを使えることです」「家で教えてもらったことを生かしてオブジェを作れたことです」

Q 今後やってみたいことは何ですか?

A.「活動が楽しく失敗しても大丈夫と思ってできるので、なんでもやりたいです!」



🎤 主催者に聞きました! (福井さん、宮原さん)

発明クラブの活動を通して、参加する子どもたちには自分から自由に自分の作りたいものを作ってほしいと思っています。発明クラブで作ったものに自分なりに色を塗ってみるなど、与えられたもの以上のことをしてくれる子がいてくれると嬉しくなります。

現在発明クラブの講師はボランティアで行っていますが、講師の後継者不足に悩んでいます。講師をしていて、良かったことは、子どもたちから元気をもらえることです。講師になるために条件もスキルも必要ありません。やりがいを感じられるボランティアだと思うので、興味のある人や若い人にぜひ講師として参加してほしいと思います。

編集後記

発明クラブというものがあることを今回初めて知りました。参加しているお子さんたちが楽しそうに生き生きと活動されていることがとても印象的でした。講師の皆さんのお話を聞く中で、子どもたちに科学により親しみを持ってもらいたいという気持ちがとても伝わってきました。知立少年少女発明クラブのことをより多くの皆さんに知ってもらい、参加してもらいたいと思いました。



愛Pとは?

愛知大学の学生サークルです。主な活動として、オープンキャンパスで愛知大学生の生活を紹介する独自の運営や来てくださった人にご案内を行っています。活動を通じて、愛知大学の魅力を学生目線で発信している広報サークルです。このコーナーでは、学生らしい視点でイベントや地域の人たち取材し、知立市の魅力を新発見、再発見したものを伝えていただきます。

